

横浜市中川西地区センター 指定管理者事業計画書																							
申込年月日 令和3年7月12日																							
団体名	特定非営利活動法人 つづき区民交流協会																						
代表者名	萩野 幸男	設立年月日	平成17年4月6日																				
団体所在地	横浜市都筑区茅ヶ崎中央29-5 森ビル204																						
電話番号	045-942-5516	FAX番号	045-942-6416																				
沿革	<p>区内地区センター等を運営していた「都筑区区民利用施設協会」の業務を引き継ぎ都筑区の地域づくりや担い手づくりを目指して地域の方々により設立されたNPOです。</p> <p>1 都筑区区民利用施設協会設立 (平成7年4月) これまで施設ごとに運営委員会に委託していた業務を一元化し、横浜市が設立しました。</p> <p>2 特定非営利活動法人つづき区民交流協会設立 (平成17年4月) 指定管理者制度の導入にあわせて区民利用施設協会を引き継ぎ、地域の方々により、NPO法人を設立しました。</p> <p>3 特定非営利活動法人の認定を取得 (平成25年12月) 活動実績が評価され、市内地区センター運営組織としては唯一法人への寄附金が税控除の対象となる「認定NPO法人」を取得しました。</p> <p>4 つづき区民交流協会理事会の構成</p>																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">役職等</th> <th colspan="2">役職等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>理事長</td> <td>地区連合町内会長</td> <td>理事</td> <td>前 区更生保護女性会会长</td> </tr> <tr> <td>副理事長</td> <td>区社会福祉協議会会长、前 区連合町内会長</td> <td>理事</td> <td>元 区民交流協会事務局長</td> </tr> <tr> <td>理事</td> <td>区青少年指導員連絡協議会会长</td> <td>監事</td> <td>横浜市退職小学校長会幹事</td> </tr> <tr> <td>理事</td> <td>区主任児童委員連絡協議会会长</td> <td>監事</td> <td>地区連合町内会長</td> </tr> </tbody> </table>			役職等		役職等		理事長	地区連合町内会長	理事	前 区更生保護女性会会长	副理事長	区社会福祉協議会会长、前 区連合町内会長	理事	元 区民交流協会事務局長	理事	区青少年指導員連絡協議会会长	監事	横浜市退職小学校長会幹事	理事	区主任児童委員連絡協議会会长	監事	地区連合町内会長
	役職等		役職等																				
	理事長	地区連合町内会長	理事	前 区更生保護女性会会长																			
	副理事長	区社会福祉協議会会长、前 区連合町内会長	理事	元 区民交流協会事務局長																			
理事	区青少年指導員連絡協議会会长	監事	横浜市退職小学校長会幹事																				
理事	区主任児童委員連絡協議会会长	監事	地区連合町内会長																				
業務内容	<p>当法人の使命である、「施設運営を通してひと・情報・地域をつなぐ」を基本として、法人の経営方針に掲げる「地域活動拠点としての居場所づくり」、「地域連携によるまちづくり」、「将来にわたる持続可能な施設運営」に取組みます。また、NPO法人としてのノウハウを活用して、都筑区運営方針（以下「方針」という）、第4期都筑区地域福祉保健計画（以下「計画」という）等の目標実現に向けて貢献します。</p> <p>1 区内14施設を受託運営 中川西地区センターを始め「地区センター3館」、「スポーツ会館2館」、「学校併設型コミュニティハウス7館」、「都筑多文化・青少年交流プラザ」、「鴨池公園こどもログハウス」の合計14施設を受託運営しています。</p> <p>2 横浜市・都筑区等との連携事業 青少年が地域とつながり、社会参加を通して成功体験を積み重ね、自己肯定感を持つきっかけとなる『はあと de ボランティア』事業を区役所から受託して実施しています。 令和2年度から、区役所、市こども青少年局と都筑多文化・青少年交流プラザ、区内の4地区センターが連携し、青少年が安心して過ごすことのできる居場所づくりを目指し、青少年を見守る事業を実施しています。</p> <p>3 区防災計画への参画 区と災害時協定を締結し、「帰宅困難者一時滞在施設」、「福祉避難所」の指定を受けて、避難者受け入れ訓練を年1回実施しています。</p>																						
	担当者 連絡先	氏名	[REDACTED]	所属	[REDACTED]																		
		電話	[REDACTED]	FAX	[REDACTED]																		
		E-mail	[REDACTED]																				

(1) 応募団体のこと

- ア 応募団体の経営方針、業務概要、主要業務、特色等について
- イ 応募団体の業務における中川西地区センター指定管理業務の位置づけ
- ウ 応募団体が行った公の施設その他類似施設の管理運営に関する主な実績

ア 応募団体の経営方針、業務概要、主要業務、特色等について

1 経営方針

(1) 「地域活動拠点としての居場所づくり」(方針「施策1・2」、計画「推進の柱1・2・3」)

施設運営を通して、誰にとっても心地よい居場所づくりと世代間交流に取り組み、利用者や団体、地域が出会い、互いに支えあい、分かちあう、誰もが地域で安心して暮らせるまちづくりを目指します。

(2) 「地域連携によるまちづくり」(方針「施策1・2・4」、計画「推進の柱1・2・3」)

区役所や関係団体等と連携して、子育てやまちづくり、防災・減災等の地域の課題解決に取り組み、地域の人材の発掘やコーディネートに努めます。

(3) 「将来にわたる持続可能な施設運営」(方針「正確・迅速・丁寧な業務の執行」)

施設運営でのコスト削減やさまざまな増収策を図り、安定した経営基盤を築き、利用者へのサービス向上に取り組みます。

2 業務概要、主要業務、特色等

(1) 【新規】地域連携による青少年の見守り事業

令和2年度から都筑区役所、市こども青少年局と都筑多文化・青少年交流プラザ、区内の4地区センターが連携し、青少年が安心して過ごすことのできる居場所づくりを目指すとともに、青少年を見守る事業に取り組んでいます。

(2) 【新規】専任の地域コーディネーターの配置

令和4年度から当法人に常勤で専任の「地域コーディネーター（館長級）」を配置します。地域コーディネーターは各施設を支援して施設職員とともに、地域とのつながりをより一層深め、地域のニーズを把握して、住民へのサービス提供や地域活動の拡充に結び付けていきます。

(3) 地域の方々により設立されたNPO法人

当法人は都筑区の地域づくりや担い手づくりを目指して、地域の方々が自ら設立したNPO法人です。役員・職員の9割が都筑区民であり、地域の特性をよく知り、地域と一体となった施設運営、事業展開を行っています。

イ 応募団体の業務における中川西地区センター指定管理業務の位置づけ

1 地域拠点として地域住民の生き生きと健やかな生活を支援(方針1-⑦⑧、方針2-⑥⑦)

活動発表の場の提供やメンバー募集の手伝いなど、健康促進や生涯学習をサポートします。

2 地域がつながり、支え合い、ともに分かちあえる関係づくりの推進(計画1-2,3 計画2-2,3 計画3-2)

世代間交流やこどもや青少年の見守り事業で、地域団体と連携し情報交換、相互支援を目指します。

ウ 応募団体が行った公の施設その他類似施設の管理運営に関する主な実績

施設名	市区名	開始年月	業務区分	施設名	市区名	開始年月	業務区分
中川西地区センター	横浜市都筑区	H18.4	指定管理	中川中コミュニティハウス	横浜市都筑区	H18.4	業務委託
仲町台地区センター		H18.4	指定管理	勝田小コミュニティハウス		H18.4	業務委託
北山田地区センター		H23.4	指定管理	川和小コミュニティハウス		H18.4	業務委託
東山田スポーツ会館		H18.4	指定管理	都田小コミュニティハウス		H18.4	業務委託
大熊スポーツ会館		H18.4	指定管理	北山田小コミュニティハウス		H18.4	業務委託
鴨池公園こどもログハウス		H18.4	指定管理	つづきの丘小コミュニティハウス		H18.4	業務委託
都筑多文化・青少年交流プラザ		H19.12	業務委託	東山田中コミュニティハウス		H18.4	業務委託
計 14 施設							

(2) 中川西地区センター管理運営業務の基本方針について

- ア 設置目的、区政運営上の位置付け
- イ 地域特性、地域ニーズ
- ウ 公の施設としての管理

ア 設置目的、区政運営上の位置付け

- 1 地区センター条例 地域住民が、自らの生活環境の向上のために自主的に活動し、活動等を通じて相互の交流を深める場としての施設目的の実現を図ります。
- 2 区政運営上の位置付け 都筑区運営方針、第4期都筑区地域福祉保健計画等の目標実現に向けて貢献します。

イ 地域特性、地域ニーズ

大きな公園や遊歩道が整備され、緑豊かで閑静な住宅が広がっています。住民の高齢化と隣接地区開発による人流の変化で、まちの活気に陰りが見えますが、長く住み続けたいと思う住民が多く、まちづくりへの積極的な参加と施設、団体の連携が広がっている地域です。

地域ニーズ

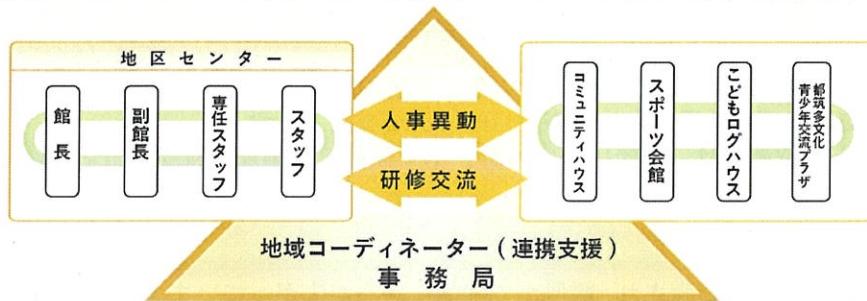
- 1 高齢化する住民が愛着のあるまちで長く生活するための健康づくりと居場所づくり
- 2 子育て世代の孤立を防ぎ、地域で子どもを育て、見守る仕組みと環境づくり
- 3 いつまでも住み続けたい安心で活気あるまちづくり

ニーズへの反映

- 1 心身の健康づくり講座、お年寄りの智恵や技を活かす世代間交流事業、気軽に集える居場所づくり事業を開催します。(方針施策 2-⑥,⑦,⑧ 計画 1-1-2, 2-2-1,2, 2-3-1,3)
- 2 親も子も遊び、学び、つながる、まちぐるみの子育て・青少年支援事業を開催します。(方針施策 1-⑦,⑧,2-① 計画 2-2-1,2, 2-3-2)
- 3 地域の施設、団体、住民が連携で取り組む交流事業、防災事業を開催します。(方針施策 1-⑦,4-① 計画 2-2-1,2 3-2-1)

ウ 公の施設としての管理

- 1 施設の公平な利用 公の施設として、全ての地域の方に平等で公平な施設運営を行います。利用方法等を窓口、パンフレット、ウェブサイト（ホームページ）等で分かりやすく伝え公平な利用を推進します。
- 2 インターネット予約導入 インターネットでの予約を導入しており、予約のための来館が不要になりました。また、インターネットを使わない方も窓口・電話で予約できるため、誰もが公平、簡潔に予約できます。(方針施策 1-⑦、計画 3-1-1)
- 3 アクセシビリティーに配慮した情報発信 ウェブを利用した情報発信では、高齢者や障害がある方なども容易に情報が得られるよう、「JIS規格のウェブサイトアクセシビリティーのAA（ダブルA）を取得」しています。
当法人は市内の地区センター運営組織で唯一のアクセシビリティーAAの取得者です。(地区センター等指定管理業務仕様書9-(3)-オ) さらに、外国人の方も利用しやすいよう、利用案内や施設案内の英語表記や、「やさしい日本語表記」を進めます。(方針施策 2-⑦, ⑧、計画 1-3-1)
- 4 誰もが快適に利用できるように 高齢者や障害のある方、外国人、子ども等、誰もが公平で快適に利用できるよう「人権啓発研修」、「障害者差別解消推進研修」、「窓口サービス研修」等を全職員が受講し、日々の業務に活かしています。(方針 1-③・2-⑦, ⑧、計画 1-3-1, 2-2-3)
- 5 災害時の公の施設としての機能 災害の発生時、帰宅困難者一時滞在場所、福祉避難所として施設を開放します（再掲）。また、区役所と連携しながら防災・減災講座を開催して、災害に対する知識・準備の重要性を地域住民と共有し、災害に強いまちづくりに努めます。(方針 4-③, ④)

(3) 組織体制**ア 管理運営に必要な組織、人員体制****1 管理運営に必要な組織**

(1) 14施設間での連携 当法人が運営する14施設間での人事異動や合同研修等が可能になり、多様な経験による人材育成と組織力のアップが図れます。また、施設館長会を毎月開催することにより、区内全域を網羅する情報収集や意見交換を行い、各施設でのサービス向上に役立てます。

(2) 地域コーディネーターの支援 新たに事務局に配置する「地域コーディネーター（館長級）」が各施設を支援することにより、地域とのつながりをより一層深め、地域のニーズを把握して、住民へのサービス提供や地域活動の拡充に結び付けていくことができます。（再掲）

(3) 職員等の9割以上が区内在住者 職員、スタッフは、地域での活動経験者が多く、的確に地域のニーズが把握でき、地域の実情に合った地域課題への対応が可能です。（再掲）

2 人員体制**(1) 職員体制**

職種	人数	業務概要	必要な職能・資格	勤務体制
館長	1名	施設管理責任者、事務統括責任者、地域連携、区役所連絡調整	マネジメント経験、防火管理者取得、普通救命講習終了	常勤 (5勤2休)
副館長	1名	館長補佐、經理事務、一般庶務、自主事業企画、広報	地域活動経験、普通救命講習終了、パソコンスキル	常勤 (5勤2休)
専任スタッフ	2名	一般庶務、自主事業企画、広報	地域活動経験、普通救命講習終了、パソコンスキル	非常勤 (週3~4日)
スタッフ	12名	受付案内・自主事業補助、図書管理、広報補助、館内整備	地域活動経験、普通救命講習終了、パソコンスキル	非常勤 (週3~4日)

※協会内には有資格者が多数所属し活躍している。（社会教育主事、司書、保育士、幼稚園教諭、介護支援専門員、情報処理技術者、建築物環境衛生管理技術者、木造建築物組立等作業主任者等）

(2) 職員等配置の考え方 従来の館長1名（常勤）、副館長2名（常勤）体制から、館長1名（常勤）、副館長1名（常勤）、専任スタッフ2名（非常勤）の体制に変更して、人件費の縮減を図ります。専任スタッフは、一般庶務や自主事業の企画・広報の補佐等を担い、将来の副館長候補としての人材育成を行います。

(3) 職員等勤務体制

	時間	9:00			13:00		17:00		21:00
開館時間	12 時間								
利用時間	3 時間		午前		午後①		午後②		夜間
館長・副館長 専任スタッフ	7 時間			早番1~2名					
スタッフ	4 時間					遅番1~2名			
		午前2名							
					午後2名				
							夜間2名		
1日の人員体制		4~5名体制			4~6名体制		3~4名体制		

(3) 組織体制**イ 個人情報保護等の体制と研修計画****1 個人情報保護等の体制について**

(1) 法令、市条例の遵守 「個人情報の保護に関する法律」、「横浜市個人情報の保護に関する条例」及び基本協定における「個人情報取扱特記事項」を遵守徹底いたします。

法令等に基づき「個人情報保護規程」を設けており、事務局長を個人情報保護管理者として、個人情報保護研修を年1回、全職員を対象に実施します。また、理事を個人情報保護監査責任者として、年に1回各施設の定期監査を行います。更に、特定個人情報（マイナンバー情報）については、事務局長を情報管理者として、取扱者、取扱場所、保管場所を限定し、取得・廃棄管理を徹底します。

(2) 具体的な取り組み 個人情報保護方針の施設内掲示、利用目的の施設利用申込書等への明示、苦情・相談窓口のウェブへの掲載を行います。個人情報記載書類の保管場所の限定、廃棄書類のシュレッダー処理、電子記録媒体の物理的破壊処理を行います。U S B・ファイル交換ソフトの使用、パソコンの持出を禁止します。

(3) コンプライアンス推進委員会 社会を構成する法人として、「コンプライアンス推進委員会」を設置し、法令等を遵守して高い倫理性を保つとともに社会的な要請に応えていきます。

2 研修計画

(1) 研修の積極的推進 職員の育成・スキルアップ、施設運営への参画意識推進、人権感覚の研磨、施設と地域の連携、危機管理への対応等を目的として、全体研修、職種階層別、担当別の研修をきめ細かく実施します。また、毎月のスタッフ会議で利用者対応・サービス向上等についてワークショップ形式の研修を行い、当事者意識を持って考える機会とします。

研修区分	研修内容	回数	参加対象者
全体研修	個人情報保護研修 個人情報マネジメントシステムの理解、実践 個人情報保護の徹底	年1回	全員
	人権啓発研修 人権尊重のための知識・姿勢の理解・習得	年1回	全員
	危機管理研修 危機管理マニュアルの理解・実践	年1回	全員
	普通救命講習 心肺蘇生・AED使用方法の習得	3年毎	全員
	スタッフ研修 地域と施設を繋ぐ窓口サービス、危機管理、施設の維持管理、苦情対応	年1回	全スタッフ
階層別・担当別研修	新入スタッフ研修 コンプライアンスの順守、個人情報保護の徹底、危機管理マニュアルの理解等の初期研修	年1回	全新入スタッフ
	コンプライアンス研修 法令遵守、利用者要請に応える姿勢の徹底	年1回	館長
	コーディネーター研修 地域連携を考える	年1回	館長・副館長 専任、希望スタッフ
	ホームページ研修 自主事業等の広報、ホームページのアクセシビリティに基づいた掲載方法、SNSの活用	年1回	館長・副館長 専任、担当スタッフ
	図書研修 図書の選書・除籍、ディスプレイ方法、修理方法習得	年1回	館長・副館長 専任、担当スタッフ
	次世代育成研修 持続可能な施設運営、自主事業企画・地域連携等、次世代の館長等管理者の育成	年1回	副館長・専任スタッフ 館長推薦スタッフ
	自主事業企画研修 自主事業の企画方法、防災など実例紹介 地区センター連携事業の企画	随時	副館長・専任スタッフ
	青少年支援研修 青少年の見守り育成の醸成	年4回	館長・副館長・スタッフ

※障害者差別解消推進研修、メンタルヘルス研修、健康危機管理研修も隨時実施

(3) 組織体制**ウ 緊急時の体制と対応計画****1 基本的な考え方、予防策**

(1) 危機管理対応マニュアル 横浜市防災計画、都筑区防災計画や災害時協定等に基づき「危機管理対応マニュアル」を整備しており、平常時の防犯、防災・減災、事故防止から発災時の対応等に備えています。

(2) 防犯、防災・減災、事故防止への取り組み

ア 繰り返しの訓練実施 利用者の安全確保が最優先と考え、災害等に迅速に対応できるよう、年2回以上の防災訓練を行っています。また、区との災害時協定に基づき、区と連携して「帰宅困難者一時滞在施設」、「福祉避難所」として避難者受入れ訓練を年1回実施しています。(再掲)

イ 施設設備の故障、事故、犯罪等の予防策 利用者への気持ちはよい対応は、施設内のトラブル減少にもっとも効果的だと考え、日頃から職員が意識して、利用者へのあいさつや声掛けを実践しています。また、定期的巡回点検(午前・午後・夜間各1回以上実施)、施設設備点検(毎日)を行い、施設の安全管理と清潔の保持に努めています。

ウ 警察署との連携 都筑警察署生活安全課との連携で夜間を中心として、適宜、警察官が巡回パトロールに来所します。

エ 災害に強いまちづくり 施設のみならず地域住民の意識向上とつながりにより、被害を小さく抑えることができるよう、防災・減災講座を開催し、災害に強いまちづくりに取り組みます。

2 事故・災害等の緊急時の体制、具体的対応計画

(1) 緊急時の体制 震度5強以上の地震等の広域災害発生時は、当法人事務局に「危機管理本部」を設置し、事務局長を本部長に、施設長との緊密な連携のもとに情報を一元化する体制を整えています。開館・閉館時を問わず施設に直ちに駆けつける5人一組の「初動班」を構築しています。

職員、スタッフの9割が徒歩圏内に居住しているため、公共交通機関が停止した場合も迅速に参集することができます。情報の伝達では、緊急連絡網を電話、携帯、メール、LINE等、複数の手段で確保しています。

(2) 具体的対応計画 危機管理対応マニュアルに基づいて訓

帰宅困難者一時滞在施設訓練

練や研修を実施し、不測の事態に備えて迅速で的確な対応ができるように研鑽を積んでいます。

具体例

- ・館長は防火管理者講習を受講・選任、全職員は、3年に一度普通救命講習を受講し、緊時に備えています。
- ・AED、水・乾パン、簡易トイレ、毛布、マスク等を備蓄しています。
- ・閉館中も防犯・火災・ガス漏れを機械警備が監視し、施設賠償責任保険に加入しています。
- ・通報連絡班・初期消火班・避難誘導班・応急救護班に分けた自衛消防体制を整えています。
- ・ヒヤリハット発生時、業務日誌やスタッフ会議で気づきの共有を行います。またヒヤリハット集として管理し、過去の事例からも同様の事故防止に努めています。

(4) 施設の運営計画

- ア 設置理念を実現する運営内容
イ 利用促進策

ア 設置理念を実現する運営内容

当法人の方針である「**地域活動拠点としての居場所づくり**」「**地域連携によるまちづくり**」に基づき、**地域コーディネーターとともに**、地域コミュニティの醸成と地域連携を促進します。

- 1 地域住民の自主的な活動を応援 登録団体が交流を深め、活動の成果を実感して楽しく活動の継続ができるよう、まつりや作品展示等の**発表の場**を積極的に提供します。また、新しい仲間づくりのために、掲示板、センターだより、ウェブ等で活動メンバー募集のサポートを行います。さらに、地域のイベント等では、広報活動の協力や備品の貸出、人的支援などの後方支援も行います。
- 2 頭の見える関係づくりと相互支援 グループメールや定期的な情報交換会で、施設、団体、行政がつながり、互いが持つ利点を活かした相互支援ができる体制を構築します。まちの活性化を目指した地域連携事業「中川活性化プロジェクト」では事務局を担っています。
- 3 地域で支える連携体制 日々の会話等から小さな異変に気付き、大きな問題を未然に防ぐための**青少年の見守り事業**に、行政、都筑多文化・青少年交流プラザと連携して取り組みます。(再掲)

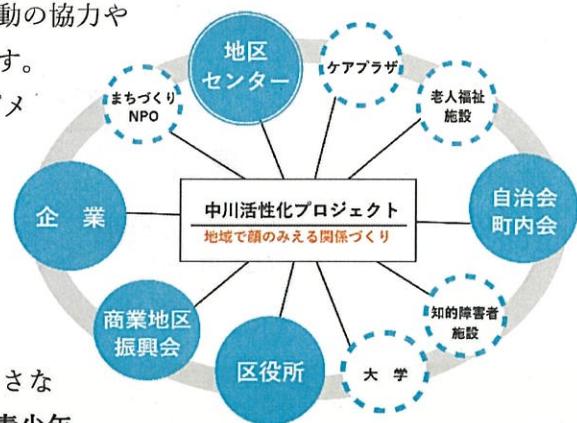
イ 利用促進策

1 現在の利用状況

- (1) インターネット予約の導入により、部屋の予約が簡略になりました。当法人が運営する**3地区センター共通の団体登録制度の導入**により、相互利用を可能にして利用促進につなげています。
- (2) 少子・超高齢化、女性の就労化、余暇の多様化等にともない、利用者数はここ数年減少傾向にありますが、個人予約の開始を利用日の1日前から6日前に変更したことで、**個人利用が増加**して空室が有効に活用されるようになりました。
- (3) 構造上使用に制限がある料理室・和室の稼働率が低く、また、他の部屋等でも夜間時間帯の稼働率が日中に比べて低い傾向にあり、利用促進に向けての更なる工夫が必要です。

2 利用促進策

- (1) 稼働率の低い料理室を会議、趣味、談話等、多目的に利用できるように、部屋中央に固定されている調理台を壁面に移動する改修を行います。これにより、**料理室にフリースペースを確保し、料理だけではなく、多様な活動ができる**ようにして利用促進につなげます。
- (2) 和室入口の扉を音漏れ低減ができる2重扉に改修し、音の出る活動で利用できるようにします。
- (3) 仕事帰りに参加できる講座や夕食を一人で取っている方たちが一緒に食事が出来る事業など、**夜間の部屋利用を促進する事業**を実施します。
- (4) 広い芝生広場を利用したアウトドアクッキングや野外コンサート、また、遊休地を利用した野菜づくり講座等、施設の特徴を効果的に活かした事業で新たな利用を促進します。



(4) 施設の運営計画

ウ 利用料金の設定について

1 料金設定の考え方

(1) 快適な空間を提供して利用率アップ

体育館の冷暖房設置や会議室の二重窓取付け等で稼働率が増加したことから、利用者にとって快適な空間の提供が重要と考えます。利用者ニーズに応え、より快適な施設を提供するために、現行の利用料金設定を継続します。

一方、料理室の料金設定は、ガス、電気、水道を使った調理が前提になった単価になっており、多目的な利用が可能になる改修完了後は、料理以外の利用時は会議室同様の単価設定とします。

料理室利用料

現 行

変 更 後

660円／2時間 (5.1円／㎡)	調理利用 660円／2時間 調理以外 560円／2時間 (4.6円／㎡)
----------------------	--

2 各部屋、時間帯ごとの料金表

中川西地区センター利用料金

料 金 表 室 名	平日（午前、午後A・B、夜間） 日・祝日（午前、午後A）	日・祝日（午後C）	延長（1時間）
会議室1	930円／3時間	620円／2時間	310円
会議室2	900円／3時間	600円／2時間	300円
工芸室	630円／3時間	420円／2時間	210円
和室1	480円／3時間	320円／2時間	160円
和室2	480円／3時間	320円／2時間	160円
会議室3	450円／3時間	300円／2時間	150円
料理室	料理利用 660円／2時間	660円／2時間	330円
	料理以外 560円／2時間	560円／2時間	280円
体育室	1,950円／3時間(全面)		
	1,300円／3時間(2/3面)		
	650円／3時間(1/3面)		

(4) 施設の運営計画

エ 利用者ニーズの把握と運営への反映

オ 利用者サービス向上の取組

カ ニーズ対応費の使途について

エ 利用者ニーズの把握と運営への反映

【利用アンケート】年1回

【自主事業アンケート】講座ごと

【センター委員会】年1回以上

【利用者会議】年1回以上、説明が必要な新規事業開始時

【ご意見箱】館内2か所

【報告書ご意見記入欄】部屋利用ごと

【声掛け】毎日

1 利用者ニーズの把握 様々な広聴手段により、利用者からの意見、要望、苦情を把握します。

2 運営への反映 把握した意見、要望はスタッフ会議、館長会等で検討して運営に反映させます。また、指定管理者での判断が難しい場合は区と協議します。

日々の会話や利用報告書に記入された意見・要望や苦情、お褒めの言葉も全て「意見・要望一覧表」で管理し、スタッフ全員で共有し、今後の対応に活かします。

「ご意見への回答」を館内掲示し、ウェブ等でも対応策を回答します。

オ 利用者サービス向上の取組

- 1 部屋の中央に固定された金属製の調理台により、調理以外の利用が難しく、また、無機質な印象の料理室を多目的室に改修し、仲間が集まり楽しく会議や食事、談話ができるようにします。(再掲)
- 2 和室の扉を2重扉にし、音が出る活動でも利用できるようにします。(再掲)
- 3 現在のロビーに加え、各部屋でのWi-Fi接続を可能にし、インターネットを活用した活動ができるようにします。また、Wi-Fi接続により災害時の情報収集が容易にできる環境を整えます。
- 4 使用時期が短く、子どもの成長に伴い次々と買い替えが必要なおもちゃを貸出して子育てを応援します。また、おもちゃ貸出しに向けて、地域に使わなくなったおもちゃの寄附を呼びかけます。
- 5 インターネット予約システムの改良や予約方法の改善など、利用者からの要望を把握し、さらに使いやすくするための改善に取り組みます。
- 6 新型コロナウイルス等の感染症拡大防止に向け、オンライン会議ができるインターネット環境を整えます。これにより協会内の情報共有や地域団体との連携を進めます。

カ ニーズ対応費の使途について

ニーズを考慮した優先順位作成

施設利用者からの要望等に基づいた、設備更新等にかかる費用対効果等を考慮し、優先順位をつけて多くの利用者へのサービス向上を図っていきます。

具体例

予約システム改修費用、料理室・和室改修費用、オンライン会議費用、貸出用おもちゃ購入、災害時備品拡充(自家発電機、ストーブ、カセットコンロほか)

(4) 施設の運営計画

キ 本市重要施策に対する取組み

1 情報公開

- 1 利用方法・運営情報の公開 施設だより(年4回)、ウェブ、SNS、館内掲示等で情報公開します。
- 2 情報公開請求への対応 市に準じた対応を実施します。

2 人権尊重

- 1 人権啓発研修 職員全員に年1回実施し、施設にあわせたテーマを考えることで、常に「気づく」という人権感覚をもつよう働きかけます。
- 2 人権に配慮した対応 高齢者・障害者・子ども・外国人等に対して、わかりやすい言葉で相手の立場に立った対応に努めます。
- 3 ウェブアクセシビリティへの取り組み ウェブは、2019年4月にJIS規格X8341-3:201のレベルAAを取得しておりレベル維持に努めます。(再掲)
- 4 障害者差別解消推進研修 職員対象に年1回実施して施設環境や対応の改善に努めます。

3 SDGsへの取り組み

持続可能な開発目標を目指す「SDGs」に取り組みます。

「市SDGs未来都市計画」に基づき、省エネやごみの削減等の身近な課題に取り組みます。

- 1 「省エネ型照明LED化」を進めます。各室の主照明は交換完了しており、引き続き副照明を順次交換します。
- 2 グリーンカーテンの育成や遮光ネットを利用した夏の暑さ対策を継続します。
- 3 小型家電、古紙・古布、小型バッテリー等の回収ボックスを設置し、ヨコハマ3R夢プランを推進します。
- 4 使い捨て傘袋配布をやめ、プラスチックごみ削減に取り組みます。
- 5 施設内での腐葉土作りや生ごみコンポスト講座でごみの削減に取り組みます。



拿のしづく落とし

4 市内中小企業の優先発注

市内中小企業を対象に、低価格で質の高い業者選定に向けて、市内中小企業を優先的にリスト掲載し、法人内の選定委員会で選定した事業者による入札を行います。

5 地域の課題解決や情報共有のための体制づくり

- 1 まちづくりへの連携強化 今期取り組んだ顔の見える関係づくりから、来期は地域コーディネーターとともに、地域連携の取り組みを更に強化し、地域とのつながりをより一層深めた「まちづくり」に向けステップアップを目指します。
- 2 地域でこどもを育て見守る連携事業 ①「青少年の見守り事業」日頃の声かけを通して青少年に寄り添い、支える事業を行政、施設が連携して行います。(再掲)
②「街の寺子屋」地域ボランティアが担い手となり、料理、スポーツ、実験等を通した世代間交流とこども達の豊かな体験づくりに取り組みます。
- 3 防災・減災に向けた取組み 防災士の資格を持つ高校生ボランティアが主体となり企画した自主事業「防災人生ゲーム」を、小学校の「おやじの会」、「はあと de ボランティア」参加の中高生ボランティアと協力して開催します。参加者、実施者が共に自助・共助の意識を高め、連携による「災害に強いまちづくり」と地域防災の担い手育成に努めます。

(3) 自主事業計画**1 自主事業に対する基本的な考え方**

地域住民が「出会い、交流し」、健やかで豊かな日々を過ごせるよう、健康づくり、子育て支援、こども・青少年支援、地域ニーズ対応事業、地域課題への取り組みを基本的な柱として自主事業を計画します。住民・団体・施設・企業の連携をコーディネートし、それぞれの強みを効果的に発揮した「地域による地域のための事業」を目指します。事後サークル立ち上げを推進し、住民の継続的な自主活動を支援します。

中川西地区センター自主事業**健康づくり事業**

(方針施策2-⑥,⑦,⑧ 計画2-2-1,2,2-3-1)

高齢者を中心に地域住民の心と体の健康づくりを支援します。つながり支え合える場所としても大切な使命を担っています。



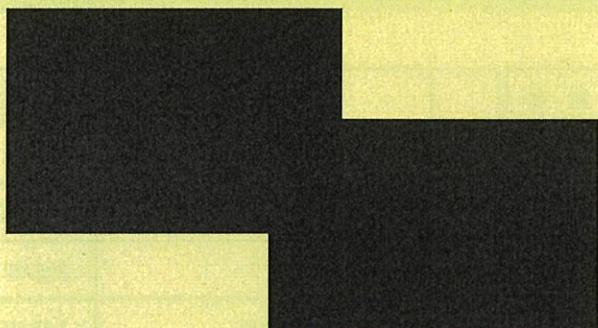
▶▶高齢者健康体操、みんな de 晩ご飯、歌声喫茶

地域ニーズ対応事業

(方針施策1-⑦,3-⑤, 計画1-3-1,3-1-1, 3-2-1)

生涯学習や文化交流など地域の要望に応え、心豊かな生活とまちの元気を応援します。

▶▶留学生カフェ、歴史講座、地区センター寄席

**子育て支援事業**

(方針施策1-⑦,2-① 計画2-2-1,2)

転入者や核家族が多く、コロナ禍では交流の場の減少で不安になりがちな子育てを地域で支え、安心して出産・子育てできる環境を作ります。

▶▶親子体操、
ベビーマッサー
ジ、親子で遊ぼ
う、絵本の読み
聞かせ

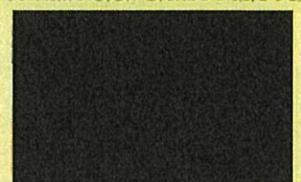
**こども・青少年支援事業**

(方針施策1-⑦,⑧,2-①, 計画2-2-1,2, 2-3-2)

地域が連携し技
術、知識、力を
活かした魅力あ
る事業で子ども
たちの豊かな成
長を支援しま

す。世代や生活圏を越えた新たな出会い、
つながりが広がっています。

▶▶街の寺子屋、ボランティア体験講座、
わくわくワークショップ

**地域課題への取り組み事業**

(方針施策4-①,5-③ 計画2-2-1,2 3-2-1)

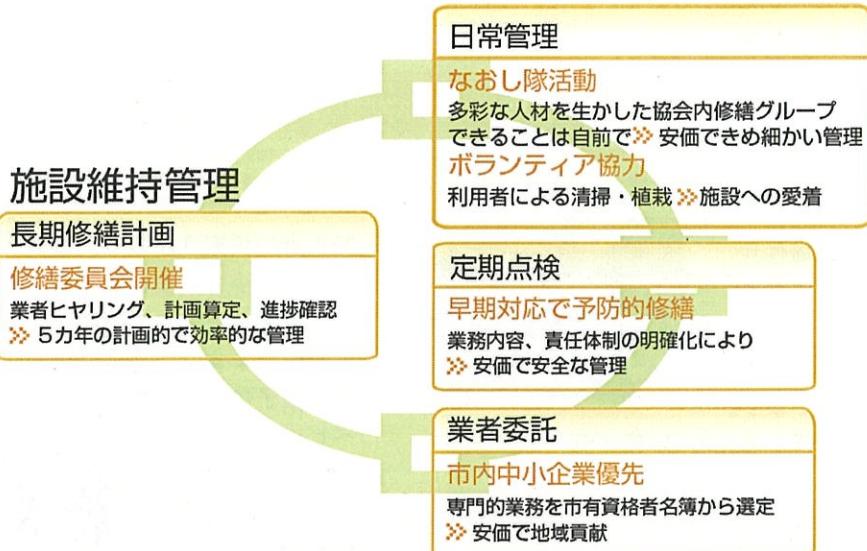
公の施設として地域が抱える課題に向き合い、地域住民の安心・安全な生活や快適なまちづくりに取り組みます▶▶防災人生ゲーム、リモートコミュニケーション、生ごみブレン土チャレンジ



(6) 施設の維持管理計画

1 保守管理計画の考え方

施設の経年劣化と近年の光熱水費上昇に対応するため、効率的・計画的な維持管理手法を取り入れ、持続可能な施設運営と長寿命化を目指します。また、協会内の人材や行政の関係者を講師とし、維持管理に関わる技能と知識の習得に努めるとともに、専門家やボランティアの力を活用します。



2 作業体制、作業内容、頻度

	業務内容	頻度		業務内容	頻度
電気・機械設備	機器運転監視 ※自前による	毎日	建物等	消防用設備点検(消火器詰替は5年毎)	2回/年
	設備総合巡回点検 (放送設備・電話交換機・電気時計含む)	1回/月		昇降機点検	1回/月
	電気設備巡回点検	1回/2月		自動ドア点検	2回/年
	電気設備定期点検	1回/年		非常通報装置点検	1回/年
	中央監視装置点検	1回/年		機械警備点検(夜間時・休館日)	常時
	空調自動制御点検	2回/年		日常清掃・点検、環境整備 ※自前による	毎日
	空調設備点検(夏冬切替)	2回/年		重点清掃 ※自前による	1回/ 2~3月
	熱源機器等点検(冷温水器・冷却塔等)	2回/年		定期清掃(ガラス清掃は3回/年)	1回/月
衛生管理	受水槽高架水槽清掃	1回/年	清掃等	害虫駆除	2回/年
	飲料水水質検査	1回/年		植栽剪定・草刈	1回/年
	グリストラップ等の清掃(排水設備の清掃)	1回/年		小破修繕 ※自前による	随時

(7) 収支計画(収入計画)

- ア 収入計画の考え方について
イ 増収策について

ア 収入計画の考え方について

1 利用料金収入 インターネット予約導入で利便性が向上し、利用料金収入は3か年で7%アップし順調に増加しています。体育室の冷暖房機設置が完了して夏季・冬季の収入増は今後も継続できるものと考えます。

2 自主事業収入 自主事業参加費は受益者負担を原則に、実費相当額を基本金額とします。ただし住民への啓発や防災・減災講座、まちの課題解決のための講座など、公益性の高い事業は参加費を抑えて、多くの地域住民が受講しやすくするなど目的にあった料金設定をします。

コロナ禍により少人数設定や広い部屋設定による収入減、経費増が考えられますが、感染拡大継続を想定した事業計画を行い、安定的な収入確保に努めます。

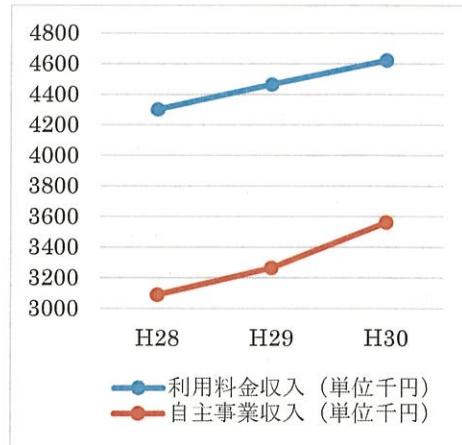
3 雑入 卓球のボール、シャトルなどの遊具やコーヒー

は居場所づくりの一助として実費に近い金額で販売します。パンやお菓子の販売は、コロナ感染拡大が落ち着くまでは行わないものとします。

イ 増収策について

予約システムの導入にともない、利便性が向上したため、新規かつ新世代の利用者増が期待できます。ウェブ上で予約状況が確認できるため、空室有効活用による増収が見込めます。

- 1 人気事業の複数回実施と参加人数増で、事業収入のアップを目指します。会社帰りに参加できる自主事業の実施で、新しい利用者層開拓と夜間利用による増収を図ります。
- 2 稼働率の低い和室に2重扉を設置し音漏れを低減し、楽器練習対応に活用します。(再掲)
- 3 料理室を、会食、談話、ミーティング、楽器練習など多目的に利用できるよう改修することで稼働率アップと増収を見込んでいます。過去5年平均12.2%の稼働率より30%アップすることで年間約30万円の増収が見込めます。(再掲)



*H31,R2は工事により半年間体育室利用不可、コロナウイルスによる臨時休館があったため比較対象外としています。

(7) 収支計画(支出計画)

ウ 支出計画の考え方について

ウ 支出計画の考え方

年度当初に、館長、会計担当副館長、本部経理担当者と共に現状分析、中長期的事業計画、利用者ニーズ等を検討の上、計画的・効率的に支出します。

1 人件費

館長1人、副館長2人の職員3人体制から館長1人、副館長1人、専任スタッフ2人の体制見直しにより人件費の縮減に努めます。(再掲)

2 光熱費

新電力会社への電力切り替えにより年間40万円以上の削減が実現しました。今後は、省エネタイプの照明・備品への切り替えを進め光熱費縮減に努めます。コロナ対策として窓開けや機械換気による冷暖房の光熱費増加は不可避と考えられますが、それを想定した支出計画で対応します。

3 事務費

- (1) サーバーでのデータ共有・管理によりペーパーレス化を進めています。
- (2) NPO法人用の安価なグループウェア等の導入により、効果的、効率的な情報共有と伝達が可能となります。
- (3) 図書・消耗品・備品等、ネットショッピングを利用し価格と過剰在庫を抑えます。

4 維持管理費

- (1) 開所後30年が経過し経年劣化が進んでいます。このため区役所と相談して、保全的修繕の実施により、重大で高額な故障を未然に防ぎ安全・安心、快適な施設管理を行います。
- (2) 管理業務委託を市内中小企業による入札で適正かつ低価格に抑えます。
- (3) 技能をもつスタッフにより、簡易な修繕は自前で修繕して修繕費削減に努めます。
- (4) 法人内一括発注(清掃委託、自販機設置、電力供給契約、祭の食材等)により効果的な契約が可能となります。

5 コロナ対策費

- (1) 安全・安心な施設運営のためのコロナ対策に必要な設備改修や備品購入を積極的に検討します。
- (2) 消毒液やマスクなどの消耗品は協会内一括購入で安価に入手します。
- (3) インターネット環境を充実し、オンラインによる会議等で業務の効率化を進めます。

6 部屋改修費

料理室・和室改修費等は、利用料增收とサービス向上への先行投資として支出します。

経理管理体制

施設

準公金管理システム

入出金管理

協会事務局

伝票、帳票類

確認・まとめ

会計事務所

助言・指導等

税務申告書作成

(8) 団体の実績

ア 選定時の提案における実施状況について

イ 新型コロナウイルス感染症に係る対応と利用者ニーズの反映について

ア 選定時の提案における実施状況について

1 地域コミュニティの醸成 人とまちがつながり、安心で豊かな生活が送れるような事業の開催や、まちの課題に取り組む様々なネットワークに積極的に参加しました。自主事業の多くを施設、団体、企業と連携で開催し、それぞれの強みを有効に発揮し、地域に還元することができました。

2 利用促進策とサービス向上 ウェブ予約の導入や個人利用の予約開始日の前倒し、Wi-Fi の設置、駐輪場屋根の設置、体育室の仕切りネットの購入等、利用者の要望に応えることができました。和室、料理室は利用制限の緩和、自主事業等での積極的利用で稼働率向上に取り組みましたが、和室の稼働率は約 1.5% 増に留まり、料理室は稼働率アップには至りませんでした。

3 収支計画 利用料金収入は 7% 増（目標 5%）、自主事業収入は 15% 増（目標 5%）、電力供給会社の見直しにより電気料金前年度比 40 万円以上の削減が実現しました。（再掲）また長期的な経費削減を目指し、施設内照明の LED 化を進めました。

イ 新型コロナウイルス感染症に係る対応と利用者ニーズの反映について

地域交流と健やかな生活を支援する地区センターの原点に立ち返って考え、コロナ禍で何ができるかを考え取り組みました。

ニーズ	利用者ニーズの反映
安全・安心な活動と交流の場	安心して利用できる対策の徹底と情報発信
	部屋予約や自主事業の申し込み方法を電話やウェブでも出来るように見直し
	参加人数の多い自主事業は複数回開催で密防止
	体調不良時の無理な参加を防ぐため、自主事業参加費を一括払いから都度払いに変更
	遊具貸出に代え、返却不要の紙ペンゲームや外で遊べる竹ばっくりを用意
健やかで楽しいお家時間	「ディスタンスドーナツ」「何人いるかな？ボード」など、楽しいコロナ対策
	インターネットで 6 つのオンライン講座を発信
	体操 3 講座、将棋、スマホ講座、マスクメイク講座
	休館中、近隣マンションのベランダから楽しめる野外コンサートの開催
	年末年始休館中、図書貸し出し冊数を通常時の 2 冊から 4 冊に変更
まちの元気応援したい	遠く離れた家族と顔を見て話しができるよう、ビデオ通話教室の開催
	地域の飲食店のテイクアウトをウェブなどで呼びかけ、みんなで応援する「中川ティカアウト大作戦」を中川活性化プロジェクト（再掲）と連携で実施
	政府支給の布マスクを不要な家庭から回収し、マスクを必要としている老人福祉施設に届ける活動を中川活性化プロジェクトと連携で実施

オンライン講座

ディスタンスドーナツ

何人いるかなボード

野外コンサート

(9) 新型コロナウイルス感染症等に係る対応

1 新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る考え方

新型コロナウイルス感染症等の感染拡大防止については、WHO や厚生労働省による「エビデンス（科学的根拠）」に基づき、「正しく理解し、正しく恐れる」姿勢を基本スタンスとします。

(1) 現時点（7月12日）での新型コロナウイルスの主なエビデンス

- ア 新型コロナウイルスによる感染症であり、主に「飛沫」により感染する。
- イ 主に冬季に流行するインフルエンザと異なり「季節に関係なく」感染する。
- ウ 「高年齢層が重症化」しやすい傾向にあるが、「変異株」が複数出現しており、それぞれに特徴があり、若年層の感染増加・重症化も懸念される。
- エ 現状では「ワクチン接種」が最大の感染予防策であるが、ワクチンの持続効果は検証中である。

(2) 感染拡大の防止

職員、スタッフが新型コロナウイルス感染症のエビデンスを「正しく理解し、正しく恐れる」ことにより、適切な感染拡大防止策に取り組みます。

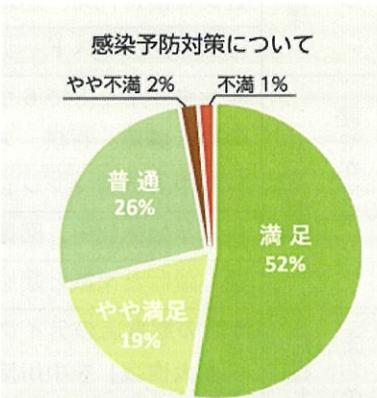
また、長期の感染症対策で外出自粛や運動不足、交流機会の減少等による心身の健康二次被害が懸念されることから、住民の健康保持・増進や、ストレスの解消により自己免疫力向上が感染を予防すると考え、安心して来所（参加）することができるように対応策の情報を発信します。

2 具体的な感染防止対策

- (1) スタッフおよび利用者の手指洗い・消毒、うがい、検温、マスク着用を徹底します。
- (2) 密閉、密集、密接の防止のため、各部屋の定員やロビー等の人数制限、飲食の制限（水分補給は可）など、一部利用制限を実施します。窓開け、換気扇による定期的な換気を実施します。
- (3) 利用者の協力による使用備品、接触箇所の消毒の徹底とスタッフによる定期的な館内消毒を実施します。
- (4) 飛沫防止のためのビニールカーテン、衝立の設置を工夫します。掲示やウェブ等での感染症対策の注意喚起と情報発信をします。
- (5) 万が一の利用者の感染時に連絡が取れるよう、利用者名簿の作成による危機管理を徹底します。

3 コロナ禍における自主事業開催の工夫

- (1) 感染状況からの影響を最小限に抑えるため、自主事業の内容、参加人数、広い部屋や屋外での開催など、安全性の高い自主事業計画を立てます。
- (2) 座学などの講座では、対面とオンラインライブ配信のハイブリッドで開催する新しい形の自主事業を進めます。
- (3) 感染拡大状況によっては、来館できない場合でも家庭でできる YouTube 等を利用したオンライン講座の発信を行い、地域住民の心身の健康促進・維持を支援します。
- (4) 高齢者でも利用できる簡単な I C T （情報通信技術）講座を開催して、高齢者の参加により、いわゆる孤立を防ぐとともに体力の維持を図ります。



横浜市中川西地区センター自主事業計画書

団体名:特定非営利活動法人つづき区民交流協会

事業名	①募集対象	自 主 事 業 予 算 額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料 から充当	参加費	講師謝金	材料費	その他
ひらり健康体操 (1講座40回)	65歳以上	440,000					
	80人		-40,000	480,000	320,000	20,000	100,000
	6,000円						
いきいきながいきストレッチ 前期・後期 (2講座40回)	中高年	500,000					
	120人		-100,000	600,000	380,000	20,000	100,000
	5,000円						
むねキュン★エアロビクス 前期・後期 (2講座40回)	一般	380,000					
	100人		-120,000	500,000	280,000	20,000	80,000
	5,000円						
癒されパワーヨガ 前期・後期 (2講座30回)	一般	250,000					
	80人		-110,000	360,000	180,000	20,000	50,000
	4,500円						
経絡ヨガ 前期・後期 (2講座30回)	一般	250,000					
	80人		-110,000	360,000	180,000	20,000	50,000
	4,500円						
みんなの卓球教室 (①入門クラス②初級クラス) 前期・後期 (4講座40回)	一般	240,000					
	40人		0	240,000	200,000	0	40,000
	6,000円						
スマホ俱楽部(①入門②活用) (4講座8回)	一般	24,000					
	80人		0	24,000	16,000	0	8,000
	300円						
リモートコミュニケーション入門 (1講座6回)	一般	48,000					
	10人		0	48,000	30,000	12,000	6,000
	4,800円						
オリジナルLINEスタンプでつな がろう! (1講座3回)	一般	40,000					
	20人		0	40,000	30,000	6,000	4,000
	2,000円						
おはなし広場 (11回)	未就園児と保護者	0					
	自由		0	0	0	0	0
	無料						
親子体操1期・2期・3期 (3講座24回)	就園前の親子	193,000					
	60組		1,000	192,000	168,000	20,000	5,000
	3,200円						
おどっちゃお! (1講座1回)	未就園児と保護者	8,000					
	20組		0	8,000	6,000	1,000	1,000
	400円						
ベビーマッサージ・サイン1期・2期・ 3期 (6講座30回)	首すわり～ハイハイ前 の子と親	195,000					
	72組		15,000	180,000	180,000	0	15,000
	2,500円						

事業名	①募集対象 ②募集人数 ③一人当たり参加費	自 主 事 業 予 算 額					
		総経費	収入		支出		
			指定管理料 から充当	参加費	講師謝金	材料費	その他
今日はお休み！親子で遊ぼう！ (1講座1回)	未就園児と保護者	10,000	0	10,000	7,000	1,000	2,000
	25組						
	400円						
パパとベビーのハートコミュニケーション (2講座10回)	首すわり～ハイハイ前の子と親	70,000	10,000	60,000	60,000	0	10,000
	24組						
	2,500円						
ハロウィンパレードに参加しよう (1講座1回)	未就園児と保護者	4,000	4,000	0	0	4,000	0
	20組						
	無料						
わくわくワークショップ (1講座1回)	誰でも	50,000	50,000	0	0	20,000	30,000
	自由参加						
	無料						
わんぱく将棋教室 (1講座10回)	小学生	70,000	20,000	50,000	60,000	0	10,000
	自由参加						
	200円						
地域の職人から習う木工教室 (1講座1回)	小学生	22,500	0	22,500	5,000	15,000	2,500
	15人						
	1,500円						
ハードディスク分解ワークショップ (1講座1回)	小学生	20,000	2,000	18,000	10,000	9,000	1,000
	18人						
	1,000円						
みんなで書初めします！ (1講座1回)	小学生/中学生	6,000	1,000	5,000	5,000	0	1,000
	10人						
	500円						
街の寺子屋 前期・後期 (2講座12回)	小学3～6年生	32,000	0	32,000	0	20,000	12,000
	32人						
	1,000円						
こども科学捜査研究所 (1講座1回)	一般	16,000	0	16,000	7,000	7,000	2,000
	20人						
	800円						
親子でアウトドア入門 (1講座1回)	親子	18,000	0	18,000	5,000	11,000	2,000
	30組						
	600円						
心を伝える親子クッキング (3講座3回)	年長～小学生とその親	54,000	0	54,000	30,000	18,000	6,000
	36組						
	1,500円						
はあとdeボランティア (1講座1回)	中高生	8,000	8,000	0	0	5,000	3,000
	10人						
	無料						
地区センちくちくクラブ (1講座10回)	小学3～6年生	20,000	0	20,000	0	10,000	10,000
	100人						
	200円						

事業名	①募集対象	自 主 事 業 予 算 額								
	②募集人数	総経費	収入		支出					
	③一人当たり参加費		指定管理料 から充当	参加費	講師謝金	材料費	その他			
門松ワークショップ (1講座1回)	小学生～大人	12,500	0	12,500	0	10,000	2,500			
	25人			10,000		5,000	0			
	500円									
つづき謎解きウォークラリー (1講座1回)	誰でも	14,000	4,000	10,000	9,000	5,000	0			
	20人			0						
	500円									
ペット防災講座 (1講座1回)	一般	10,000	10,000	0	7,000	1,000	2,000			
	10人			0						
	無料									
防災人生ゲーム (1講座1回)	小学生	20,000	20,000	0	0	15,000	5,000			
	自由参加			0						
	無料									
いざという時だけじゃもったいな いくらい面白いサバイバルクッ キング (1講座1回)	一般	24,000	12,000	12,000	12,000	10,000	2,000			
	40人			0						
	300円									
みんなで作って食べましょう (1講座12回)	誰でも	145,000	25,000	120,000	0	120,000	25,000			
	240人			0						
	500円									
「生ごみブレン土」チャレンジ (1講座1回)	一般	22,500	15,000	7,500	5,000	15,000	2,500			
	15人			0						
	500円									
季節の花と暮らしましょう (3講座3回)	一般	108,000	0	108,000	21,000	83,000	4,000			
	36人			0						
	3,000円									
ワイン入門講座 (2講座2回)	一般	76,000	-4,000	80,000	0	72,000	4,000			
	32人			0						
	2,500円									
留学生カフェ (1講座1回)	一般	0	0	0	0	0	0			
	20人			0						
	無料									
ワールドキッチン (3講座3回)	一般	90,000	0	90,000	30,000	50,000	10,000			
	36人			0						
	2,500円									
手作り味噌講習会 (1講座2回)	一般	72,000	0	72,000	12,000	56,000	4,000			
	16人			0						
	4,500円									
初めての健康麻雀入門 (1講座6回)	一般	74,000	-16,000	90,000	48,000	20,000	6,000			
	30人			0						
	3,000円									
中川西地区センター 健康麻雀大会 (1講座1回)	一般	15,000	0	15,000	7,000	6,000	2,000			
	30人			0						
	500円									

事業名	①募集対象	自 主 事 業 予 算 額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料 から充当	参加費	講師謝金	材料費	その他
暮らしの中の書 (1講座6回)	一般	39,200	0	39,200	30,000	3,200	6,000
	14人						
	2,800円						
歴史講座「浮世絵講座」 (1講座1回)	一般	12,000	0	12,000	5,000	5,000	2,000
	40人						
	300円						
夏の夜の講談 (1講座1回)	一般	20,000	0	20,000	10,000	6,000	4,000
	50人						
	400円						
中川西地区センター寄席 (1講座1回)	一般	31,000	1,000	30,000	20,000	5,000	6,000
	60人						
	500円						
ロビーコンサート (2講座2回)	一般	12,000	12,000	0	10,000	0	2,000
	自由参加						
	無料						
地区センターまつり (1回)	一般	290,000	290,000	0	20,000	250,000	20,000
	自由参加						
	無料						
合 計		4,055,700	0	4,055,700	2,405,000	991,200	659,500

事業ごとの事業内容等を様式4に記載してください。

横浜市中川西地区センター自主事業別計画書（単表）

団体名：特定非営利活動法人つづき区民交流協会

事業名	目的・内容	実施時期・回数
【シニア】 ひらり健康体操 (継続・平成18年度)	目的：健康づくり事業、シニア層(65歳以上限定)の運動習慣支援、仲間づくり 内容：ストレッチ・中国体操・ダンスなどを中心とした健康体操	(1講座40回) 4月～3月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
【シニア】 いきいきながいき ストレッチ (継続・平成24年度)	目的：健康づくり事業、地域中高年層の運動習慣支援、仲間づくり 内容：ストレッチ・リズムダンスを取り入れた続けやすい体操	(2講座40回) 前期(4月～9月) 後期(10月～3月)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
【一般】 むねきゅん★ エアロビクス (継続・平成20年度)	目的：健康づくり事業、地域住民の運動習慣支援、仲間づくり 内容：参加者世代には懐かしい歌謡曲をBGMにしたエアロビクス ストレッチとの組み合わせで無理なく自分のペースで楽しめる	(2講座40回) 前期(4月～9月) 後期(10月～3月)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
【一般】 癒されパワーヨガ (継続・平成23年度)	目的：健康づくり事業、地域住民の運動習慣支援 内容：ヨガ経験者対象パワーヨガ入門教室	(2講座30回) 前期(4月～10月) 後期(10月～3月)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
【一般】 経絡ヨガ (継続・令和元年度)	目的：健康づくり事業、地域住民の運動習慣の支援 内容：ヨガ初心者も気軽に参加できる経絡を刺激しながらのヨガ	(2講座30回) 前期(4月～10月) 後期(10月～3月)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
【一般】 みんなの卓球教室 ①入門クラス ②初級クラス (継続・平成30年度)	目的：健康づくり事業、地域住民のスポーツを通じた仲間づくり支援 内容：初心者クラスは持ち方から、入門クラスはステップアップを目指し、 講座終了後にはサークル化を支援	(4講座40回) 前期(4月～10月) 後期(11月～3月)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
【一般】 スマホ俱楽部 (継続・令和2年度)	目的：コロナ禍ICTスキル支援事業、地域課題(高齢化・孤立)解決支援 地域連携(近隣企業) 内容：地域貢献の一環として地域企業がスマートフォンの使い方を指導 入門(初心者向け)と初級(使い始めた人向け)の2クラス設置 (協力：京セラ株式会社)	(4講座8回) 6月、9月、12月、3月、

事業名	目的・内容	実施時期・回数
【一般】 リモートコミュニケーション入門 (継続・令和3年度)	目的：コロナ禍ICTスキル支援事業、生涯学習、地域人材の活動支援 内容：地域で活動する講師による、オンラインコミュニケーションツールの 学習と技術習得	(1講座6回) 9月～2月

(様式4)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
【一般】 オリジナルLINEスタンプ でつながろう！ (継続・令和3年度)	目的：コロナ禍ICTスキル支援事業、生涯学習、サークル活動支援 内容：利用団体が講師となりオリジナルLINEスタンプの作成方法を加工から申請まで3回講座で学ぶ	(1講座3回) 6月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
【子育て】 おはなし広場 (継続・平成18年度)	目的：子育て支援事業、地域ボランティア団体活動支援 内容：ボランティア団体による絵本読み聞かせ、紙芝居、ペーパーサート等	(1講座11回) 4月～3月(8月を除く)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
【子育て】 親子体操 (継続・平成27年度)	目的：子育て支援事業、親子の仲間づくり、スキンシップ、健康維持支援 内容：未就園児と器具や音楽を使って運動する 親子一緒に楽しく遊び、仲間づくりを目指す	(3講座24回) 1期(5月～7月) 2期(9月～11月) 3期(1月～3月)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
【子育て】 おどっちゃんお！ (継続・令和3年度)	目的：子育て支援事業、親子の仲間づくり、スキンシップ、情操教育体験 内容：コンテンポラリーダンサーの講師が、未就園児と保護者に身体を使い自由に表現する「創作ダンス」体験を指導	(1講座1回) 7月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
【子育て】 ベビーマッサージ・ ベビーサイン (継続・令和元年度)	目的：子育て支援事業、親子のスキンシップ、仲間づくり 内容：腰の座らない赤ちゃんとママのスキンシップにはマッサージ、お座りができるようになってからは、ベビー期にだけできるスキンシップ「ベビーサイン」を学ぶ	(6講座30回) 1期(5月～7月) 2期(9月～12月) 3期(1月～3月)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
【子育て】 今日はおやすみ！ 親子で遊ぼう！ (新規)	目的：子育て支援事業(共働き両親支援)、親子のスキンシップ、仲間づくり 内容：平日の「親子体操」の講師が親子で楽しく体を動かす運動を指導 日頃仕事をしている両親に広い体育室での遊び体験の機会を提供	(1講座1回) 11月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
【子育て】 パパとベビーの ハートコミュニケーション (新規)	目的：子育て支援事業(共稼ぎ両親支援)、親子のスキンシップ、仲間づくり 内容：ベビー期だけできるスキンシップ「ベビーサイン」を休日に開催 休日のパパと平日働くママの参加を支援	(2講座10回) 1期(5月～7月) 2期(9月～12月)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
【子育て】 ハロウィンパレードに参 加しよう (継続・平成30年度)	目的：子育て支援事業、地域課題(子育て孤立化)解決支援、地域連携 内容：地域のイベント「ハロウィンウォーク」に保育園に行かず参加できない未就園児と親を「地区センターチーム」として参加 (協力：中川駅前商業地区振興会・NPO法人ぐるっと緑道)	(1講座1回) 10月

(様式4)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
【誰でも】わくわくワークショップ(継続・平成5年度)	目的: 子ども・青少年支援事業、地域連携、世代間交流、 内容: 地域活動団体等による様々なワークショップ等 (後援:都筑区)	(1講座1回) 5月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
【子ども】わんぱく将棋教室(継続・平成19年度)	目的: 子ども・青少年支援事業、地域ニーズの対応、地域人材の活動支援 内容: 将棋のルールや駒の動かし方などを学び、対局を楽しむ 考える力を養い、異年齢交流も図れる	(1講座10回) 4月～3月 (8月、11月を除く)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
【子ども】家具職人から習う木工教室(継続・平成28年度)	目的: 子ども・青少年支援事業、地域(近隣工房)連携、ものづくり体験 内容: 近隣の家具工房の職人(丁稚)の指導で、木工を学び小物を製作する 道具の正しい扱い方や制作技術を学び、作品を作る達成感を経験	(1講座1回) 7月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
【子ども】ハードディスク分解ワークショップ(継続・令和3年度)	目的: 子ども・青少年支援事業、地域(NPO法人)連携、PCへの関心 内容: PCハードディスクを分解し構造を学ぶ (協力:NPO法人I Loveつづき)	(1講座1回) 7月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
【子ども】みんなで書初めします(継続・平成30年度)	目的: 子ども・青少年支援事業、地域人材の活動支援、文化伝承 内容: 正月行事の一つである「書初め」に楽しくチャレンジする 筆の使い方や書く姿勢を学ぶ	(1講座1回) 1月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
【子ども】街の寺子屋(継続・平成27年度)	目的: 子ども・青少年支援事業、地域人材の活動支援、文化伝承、食育 内容: 地域のボランティア講師による、科学実験、料理、伝統行事参加など 毎月違うテーマの体験講座 (後援:都筑区)	(2講座12回) 前期(4月～9月) 後期(10月～3月)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
【子ども】こども科学捜査研究所(継続・令和3年度)	目的: 子ども・青少年支援事業、地域の防犯意識の啓発、科学への関心 内容: 警察の科学捜査の指紋採取、血液採取の体験と、実例を参考にした 防犯の話	(1講座1回) 7月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
【親子】親子でアウトドア入門(新規)	目的: 子ども・青少年支援事業、地域(おやじの会・公園愛護会)連携 家族交流、屋外企画 内容: 竹を伐り、火おこしをし、バウムクーヘンを作る (協力:都筑小おやじの会、烏山公園愛護会)	(1講座1回) 8月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
【親子】心を伝える親子クッキング(継続・令和2年度)	目的: 子ども・青少年支援事業、親子交流、食育、料理室利用促進 内容: 親子で誰かの為に料理をし、持ち帰る(母の日・父の日・バレンタイン)	(3講座3回) 5月、6月、2月

(様式4)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
【青少年】 はあとdeボランティア (継続・平成27年度)	目的: 子ども・青少年支援事業、連携(施設)事業、中高生ボランティア活動支援 内容: 夏休みに地域のボランティアを希望する中高生の活動の場提供 (共催:都筑多文化・青少年交流プラザ、都筑区社会福祉協議会、他)	7月～8月 (1講座1回)
【子ども・シニア】 地区センチくちくクラブ (継続・令和3年度)	目的: 子ども・青少年支援事業、世代間交流、地域課題(子どもとシニアの孤立) の解決支援、地域人材の活動支援 内容: 地域ボランティアによる手芸クラブ、和布を使った裁縫をシニアが 子どもに指導することによって定期的な交流を図る	(1講座10回) 6月～毎月1回
【誰でも】 門松ワークショップ (継続・令和2年度)	目的: 子ども・青少年支援事業、連携(愛護会)事業、文化伝承 家族・地域交流、屋外企画 内容: 烏山公園愛護会の竹を伐りミニ門松を作る (協力:烏山公園愛護会)	(1講座1回) 12月
【誰でも】 つづき謎解きウォークラン (継続・令和2年度)	目的: 子ども・青少年支援事業、地域活性化、参加者間交流、屋外企画 内容: 親子でも、友達とでも、地元都筑の謎解きをしながらウォーキング 最終ポイントで宝さがし (協力:都筑をガイドする会)	(1講座1回) 3月
【一般】 ペット防災講座 (継続・令和3年度)	目的: 地域課題(防災)への取組み事業、連携(動物愛護団体)事業、屋外活用 内容: ペットを持つ家庭に万が一に備えた知識を習得してもらう (協力:ニュータウン動物愛護会)	(1講座1回) 3月
【誰でも】 防災人生ゲーム (継続・令和3年度)	目的: 地域課題(防災)への取組み事業、連携(施設、地域団体)事業 中高生ボランティア活動支援 内容: 災害が発生した場合の知識をゲームやクイズでクリアする (協力:都筑多文化・青少年交流プラザ、都筑小おやじの会)	(1講座1回) 9月
【親子】 いざという時だけじゃもつ たないくらい面白いサ バイバルクッキング (継続・令和3年度)	目的: 地域課題(防災)への取組み事業、連携(地域団体)事業、屋外活用 内容: 防災食を教わり、実際に不便な屋外で試すことにより、災害時の自助・ 共助のための防災の知識を楽しく学ぶ (協力:都筑小おやじの会)	(1講座1回) 秋
【誰でも】 みんなで作って食べま しょう(新規)	目的: 地域課題(孤食・孤立)解決支援、料理室・中庭活用、利用者層開拓 夜間利用促進、世代間交流 内容: 日本各地の郷土料理(又は季節の料理)を皆で作って食べる 季節や時間によって中庭を活用したり晩ごはんも開催 コロナ感染拡大状況によっては延期	(1講座12回) 毎月1回

(様式4)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
【一般】 「生ごみブレン土」チャレンジ(新規)	目的: 地域課題(ゴミ削減)解決支援、屋外活用、環境問題への取組み 内容: 段ボールコンポストの方法を学び、始めることにより、CO2削減などの環境問題を身近に感じてもらう (協力:区役所)	(1講座1回) 春

事業名	目的・内容	実施時期・回数
【一般】 季節の花と暮らしましよう (継続・令和2年)	目的: 地域ニーズへの対応、地域店協力による地域活性化、趣味、仲間づくり 内容: 折々の花材でリース、アレンジメントなどを作る	(3講座3回) 9月、11月、2月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
【一般】 ワイン入門講座 (継続・令和2年度)	目的: 地域ニーズへの対応、地域店協力による地域活性化、利用者層開拓 夜間利用促進 内容: ワインを楽しみたい人向けの入門クラス、コロナ感染状況によっては中止	(2講座2回) 10月、3月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
【一般】 留学生カフェ (継続・平成29年度)	目的: 地域ニーズへの対応、国際理解、文化交流、連携(大学・団体)事業 内容: 留学生による母国の紹介講座、留学生と地域住民との交流を図る (共催:区役所、東京都市大学、NPO法人ぐるっと緑道)	(1講座1回) 未定

事業名	目的・内容	実施時期・回数
【一般】 ワールド・キッチン (継続・令和元年度)	目的: 地域ニーズへの対応、国際理解、文化交流、仲間づくり 料理室・中庭利用促進 内容: 外国人の講師による母国の食文化を学ぶ講座	(3講座3回) ①12月②2月③3月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
【一般】 手作り味噌講習会 (継続・平成22年度)	目的: 地域ニーズの対応、食で健康、料理室利用促進、文化伝承、仲間づくり 内容: 無添加で美味しい味噌を手作りする講習	(1講座2回) 1月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
【一般】 初めての健康麻雀入門 講座 (継続・令和元年度)	目的: 地域ニーズの対応、生涯学習、仲間づくり 内容: 健康麻雀を学んでゲームを楽しむ、仲間を作りサークル活動を目指す	(1講座6回) 9月～11月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
【一般】 中川西地区センター 健康麻雀大会 (継続・令和3年度)	目的: 地域ニーズの対応、他施設との連携事業、地域交流、日頃の成果発表 内容: 北山田・仲町台地区センターとの連携事業として各館で予選開催 日頃地区センターで活動する麻雀愛好家が腕を競う場とする	(1講座1回) 秋～冬

事業名	目的・内容	実施時期・回数
【一般】 暮らしの中の書 (継続・令和3年度)	目的: 地域ニーズの対応、生涯学習、地域人材の活動支援 内容: 生活のさまざまな場面で必要な筆ペンを使った字を練習する	(1講座6回) 秋

(様式4)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
【一般】歴史講座「浮世絵講座」(継続・令和3年度)	目的: 地域ニーズの対応、生涯学習、地域団体活動支援 内容: ボランティア歴史研究家の講師に依頼し楽しく学ぶ	(1講座1回) 秋

事業名	目的・内容	実施時期・回数
【誰でも】夏の夜の講談(継続・令和3年度)	目的: 地域ニーズの対応、地域団体活動支援、文化伝承、夜間利用層開拓 内容: 地域で活動をしているアマチュア落語会(講談師)に依頼 夜に夏の風物詩「怪談」を聞く	(1講座1回) 夏

事業名	目的・内容	実施時期・回数
【誰でも】中川西地区センター寄席(継続・平成13年度)	目的: 地域ニーズの対応、文化伝承、地域交流 内容: 地域住民に落語家の生の高座を気軽に楽しむ場を提供	(1講座1回) 2月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
【誰でも】ロビーコンサート(継続・平成22年度)	目的: 地域ニーズの対応、地域人材活動支援、サークル活動支援 地域交流、ロビー・中庭利用 内容: ボランティア音楽家などに依頼し、ロビーや中庭で無料コンサート	(2講座2回) 春 冬

事業名	目的・内容	実施時期・回数
【誰でも】地区センターまつり(継続・平成5年度)	目的: 自主活動支援、地域との連携と活性化、利用者・登録団体相互交流 内容: 登録団体の展示・発表、地元町内会等の協力による模擬店、その他イベント開催	(1講座1回) 11月

単独団体名・共同事業体名	特定非営利活動法人つづき区民交流協会
施設名	横浜市中川西地区センター

令和4年度収支予算書（兼指定管理料提案書）

I. 指定管理料

(単位：千円)

提案額（a）	39,497	指定管理料提案額＝小計【イ】を記入 ※区指定上限額（b）の範囲内で提案してください。
※区指定上限額（b）	39,497	
差引（a）－（b）	0	
提案額の区指定上限額に対する割合 (a) / (b)	100.0%	

II. 令和4年度収支予算書（総括表）

1 収入の部

項目	合計金額 (単位：千円)	備考
利用料金収入【A】	3,800	
自主事業収入【B】	4,056	
雑入【C】	575	
小計【ア】（【A】～【C】）	8,431	施設運営収入の計
指定管理料①【D】	38,230	【ウ】－【ア】
指定管理料②（ニーズ対応費分）【E】	1,267	【A】×1/3
小計【イ】（【D】～【E】）	39,497	指定管理料の計
収入合計（【ア】+【イ】）	47,928	

2 支出の部

項目	合計金額 (単位：千円)	備考
人件費【a】	22,162	
事務費【b】	2,292	
自主事業費【c】	4,056	
管理費A（光熱水費等）【d】	4,750	
管理費B（保守管理費等）【e】	4,192	
公租公課【f】	2,300	
事務経費【g】	6,909	
小計【ウ】（【a】～【g】）	46,661	施設管理運営経費の計
ニーズ対応費【h】（=【E】）	1,267	【E】と同額になります。
小計【エ】（【h】）	1,267	ニーズ対応費の計
支出合計（【ウ】+【エ】）	47,928	

※金額は、消費税及び地方消費税（10%）込みの額を記載してください。

単独団体名・共同事業体名	特定非営利活動法人つづき区民交流協会
施設名	横浜市中川西地区センター

令和4年度収支予算書

1 収入の部内訳（指定管理料除く）

(単位：千円)

	項目	内容等	金額	
利用料金収入	会議室1		ア	680
	会議室2		イ	590
	工芸室		ウ	510
	料理室		エ	120
	会議室3		オ	400
	和室1		カ	200
	和室2		キ	200
	体育室（A・B・C）		ク	1,100
			ケ	
	小計		[A]	3,800
自主事業収入	成人・子育て	健康体操・親子体操・教養講座・異文化交流 他	コ	3,798
	わんぱく	親子講座・理科科学体験講座 他	サ	258
			シ	
			ス	
			セ	
	小計		[B]	4,056
				コ～セ
雑入	印刷代	コピー機、印刷機使用料	ソ	80
	自動販売機手数料		タ	300
	自動販売機電気料収入		チ	40
	コーヒー売上		ツ	65
	遊具売上	卓球ボール、バトミントンシャトル等売上	テ	70
	寄附金	認定NPO法人にかかる寄附金、募金箱	ト	20
	小計		[C]	575
				ソ～ト

小計【ア】	施設運営収入計	8,431	[A]～[C]
-------	---------	-------	---------

※金額は、消費税及び地方消費税（10%）込みの額を記載してください。

単独団体名・共同事業体名	特定非営利活動法人つづき区民交流協会
施設名	横浜市中川西地区センター

令和4年度収支予算書

2 支出の部内訳（ニーズ対応費除く）

（単位：千円）

項目	内 容 等	金額	
人件費	正規雇用職員 給与、社会保険料	ア 8,702	
	臨時雇用職員 賃金、社会保険料	イ 13,258	
	対象外の人事費	ウ 202	ウ-1～ウ-4
	通勤手当 正規雇用職員	ウ-1 101	
	健康診断費 正規雇用職員、臨時雇用職員	ウ-2 101	
	勤労者福祉共済掛金	ウ-3 0	
	退職給付引当金繰入額	ウ-4 0	
小計		[a] 22,162	ア～ウ
事務費	旅費 出張旅費	エ 25	
	消耗品費 消耗品費、コピーチャージ等	オ 950	
	会議賄い費	カ 5	
	印刷製本費 チラシ印刷、封筒印刷等	キ 10	
	通信費 電話代、切手代、郵送料、通信回線料等	ク 200	
	使用料及び賃借料	ケ 0	ケ-1～ケ-2
	横浜市への支払い分	ケ-1 0	
	その他	ケ-2 0	
	備品購入費	コ 50	
	図書購入費	サ 0	
	施設賠償責任保険	シ 29	
	職員等研修費 普通救命講習等研修参加費	ス 20	
	振込手数料	セ 0	
	リース料 複合機・パソコンリース料、保守料	ソ 573	
	手数料 予約システム利用料等	タ 400	
	地域協力費 地域・学校等行事への協力	チ 30	
小計		[b] 2,292	エ～テ
自主事業費		[c] 4,056	
管理費 A	電気料金	ト 3,000	
	ガス料金	ナ 1,300	
	上下水道料金	ニ 450	
	小計	[d] 4,750	ト～ニ
管理費 B	清掃費 定期清掃	ヌ 580	
	修繕費	ネ 900	
	機械警備費	ノ 212	
	設備保全費	ハ 2,500	ハ-1～ハ-6
	空調衛生設備保守 冷暖房機器・空調自動制御保守点検	ハ-1 1,070	
	消防設備保守 消防点検	ハ-2 100	
	電気設備保守 自家用電気工作物・エレベータ・自動ドア保守点検	ハ-3 1,080	
	害虫駆除清掃保守	ハ-4 60	
	駐車場設備保全費	ハ-5 0	
	その他保全費 設備総合巡回点検	ハ-6 190	
	共益費	ヒ 0	
	小計	[e] 4,192	ヌ～ヒ
公租公課	事業所税 法人税、法人事業税、法人県民税、法人市民税	ホ 280	
	消費税	マ 2,020	
	印紙税	ミ 0	
	その他（ ）	ム 0	
	小計	[f] 2,300	ホ～ム
事務経費	本部分 勞務・会計等含む協会全体必要経費を施設ごと配分	メ 6,909	
	当該施設分	モ 0	
	小計	[g] 6,909	メ～モ
小計 【ウ】		施設管理運営経費計	46,661 [a]～[g]

※金額は、消費税及び地方消費税（10%）込みの額を記載してください。

※公租公課欄には、仕入税額控除後の消費税及び地方消費税見込額、その他税額を記載してください。